

とんでもない!!

子どもたちの遠足費カットして

議員の海外視察費 議員1人 100万円 はそのまま



海外視察費こそカットして子どもたちの遠足費にあてるべきです

2003年度予算特別委員会 文教関係

石川武彦議員の質問 3月6日

わずか14万2千円をカット

市立養護学校の遠足 年2回から1回へ

新年度予算案は、市立養護学校の遠足費「わずか14万2千円」を削り、遠足を年2回から1回にしています。しかし、その一方で、市民から見直すべきとの声が多い議員の海外視察費については、これまでどおりの予算が計上されています。議員一人100万円、新人は50万円)

石川議員はこの問題をとりあげ、「とんでもないことだ。議員の海外視察費こそ削るべき。日本共産党市議団は、海外視察費は一切使っていないし、今後も使わない。共産党の割当分を子どものために使ってほしい」と発言しました。

小・中学生の平和資料館見学たった4件

資料館見学にも行ける「遠足費」復活を

平和資料館への他県の子どもの見学は増えているのに、市内の子どもの見学は激減し、去年はたった4件(小3件、中1件)。その原因は、去年から遠足費の代わりに導入された「自然体験学習活動費」。学習コースに資料館など施設見学を入れると、「自然体験学習ではない」という理由で市教育委員会が許可しないからです。(別表参照)

石川議員は、資料館見学は小・中学生の必須科目でなければならぬ。資料館に行くように小・中学校の校長に指導しているといっても、学校にはバケ代も支給されていないと指摘し、被爆体験を継承していくためにも「遠足費」を復活するよう求めました。

生徒指導費1330万円 全額カット

先生の時間外指導に関する手当を設けるべき

新年度予算案では、生徒指導費1330万円が全額カットされています。この生徒指導費で、先生が勤務時間外に家庭訪問や指導を1時間以上おこなった場合、1回につき1500円を支給してきました。

石川議員は、「生徒が問題を起こしたら、先生は在宅中でもかけつける。1時間の残業代の半分程度の手当をなぜ全額カットする必要があるのか」と追及。市教育委員会は、他に手当を出す方法として、校長の命令で8キロ以上のところへ行く場合の旅費支給、休日に6時間以上勤務した場合の特殊勤務手当があると答弁しました。

石川議員は、「学区内で夜中までかかる事件があっても、旅費も特殊勤務手当も適用されない。残業代も出ない」と指摘し、特殊勤務手当に生徒指導の手当を新設するよう求めました。

公明党議員の発言に対して反論

「子どもの読書活動推進法」について

公明党の鶴見和夫議員は質問のなかで、2001年12月国会で「子どもの読書活動の推進に関する法律」が採択された際、共産党だけが反対したと、日本共産党が子どもの読書活動を妨害しているかのような発言をしました。

この発言に対し石川議員は、「読書はあくまで自由で自主的な活動であり、本を読みなさいと法律で決めるのは正しくない、国がやるべきことは、自主的な読書活動を推進するための条件づくり(学校図書館の拡充、司書の配置、公立図書館の建設など)である」とのべた上で、「条件整備については、国会審議で日本共産党の指摘で法律にも明記させたが、読書を上から押しつける法律の中身は変わらなかった。このような法律に反対するのは当たり前だ」と反論しました。

自然体験学習で行っている所(2001年度実績)

森林公園 127件 植物公園 18件 動物公園 71件

せせらぎ公園 16件 小河内野外センター 24件

緑化センター 12件 三滝少年自然の家 20件 *1件は1クラス単位



中原ひろみ議員の質問

介護保険料の引き上げやめて

一般財源から予算を繰り入れればできる

【中原議員】介護保険事業は自治体の裁量でやれる。市がやる気になれば一般財源から予算を繰り入れて保険料を引き下げられるがどうか。

【市答弁】一般会計を入れると利用と負担がはっきりしない。介護保険の独立採算を保つ上から繰り入れは難しい。

乳幼児医療費無料化を

出島埋立護岸整備費(12億円)でできる額

【中原議員】乳幼児医療費無料化を就学前までに急いで拡充してほしい。入院のみならずか3000万円、通院を含めると9億700万円、出島埋め立ての護岸整備費12億5000万円で実現できる額。昨年10月から、2歳児までの医療費の2割は国が負担しており、市は1億7000万円の予算が浮いている。この財源で入院だけでも実施すべきではないか。

【市答弁】どのような形で実施していくか検討する。



村上あつ子議員の質問

ヘルパーステーションも計画通り設置を

5月オープン予定 東区地域福祉センター

東区役所に隣接の地域福祉センター(事業費26億3200万円)は今年5月開設予定で、現在、最後の仕上げ工事が急がれています。

これは、市が各区に順次建設しているもので、東区は5番目の建設。センターの中には区の厚生部、保健センターや社会福祉協議会、ヘルパーステーション等が併設されています。

東区の場合も、設計段階で福祉サービス公社のヘルパーステーションが設置される計画になっていましたが、新年度予算には計上されていません。

村上議員は、「なぜ計画通り5月にオープンしないのか」と質問。市は、「福祉サービス公社の経営状況を含めて公社のあり方を検討しており、ヘルパーステーションは来年度も現在の中区役所裏の北庁舎に間借りしたまま」と答えました。

約8割の人が申請していない

高額医療費の償還払い 制度徹底を

【中原議員】高齢者に高額医療費の償還払い制度を徹底し、限度額を超えて支払った医療費を、早急に簡単な手続きで本人に返金できるようにしてほしい。

【市答弁】これまで、あらゆる機会をとらえて周知をはかったが未申請の人が多い。高額医療の該当者で未申請の人には個別に働きかける。コンピューター手続システムを早いうちに整える。

老人保健の高額医療費償還払い状況 (2002年10月診療分 社会局保険年金課調べ)

高額医療費の件数	
高額医療費に該当した件数	2,747件
支給申請書を提出した人数	578人
支給申請書を提出していない人数	2,169人
高額医療費の支給額	
申請した人に支給された平均支給額	10,567円
未申請の人が申請すれば支給される平均支給額	4,469円

窓口支払いせずすむシステムを

限度額超す高齢者医療費の窓口払いについて

【中原議員】高齢者が病院で一ヶ月の窓口支払いが限度額を越えたら、支払いをしなくても済むようなシステムを北海道夕張市の市立病院が実施している。研究してはどうか。

【市答弁】夕張市とは、都市の規模、事務量で広島市とは違いが多いが、高齢者の負担の軽減をはかる上では必要だと考えるので調査をする。

大型公共事業には何10億円もつぎ込みながら
福祉には140万円が出せない

介護保険制度の実施で、福祉サービス公社も一介護支援事業者となりましたが赤字です。東区に設置するには、開設初年度140万、その後年90万の維持管理費がかかりますが、市はそれが出せないと答弁しました。

村上議員は、「福祉サービス公社は本来、市がやるべき仕事を市から委託され、委託費をもらって市民へ福祉サービスを行っている。サービスを低下させないというのであれば委託費を出すのは当然。年金は減らされ、介護保険料、医療費は上がる一方で、その上、利用料の1割負担で貧乏人は死ぬしかないといわんばかり。市は、経営努力の名目で人件費の削減することばかりで、収入を増やす努力、利用者を増やす努力が見えない」と指摘。新年度すぐに6月補正で140万円を捻出し、早急にオープンしてほしいと強く要望しました。

福祉サービス公社は、民間事業所が後回しにしがちな低所得者への支援や、報酬単価の低い家事型ヘルパーを一手に引き受けています。さらに4月から障害者へのサービスが支援費制度に移行することによって一層福祉サービス公社の役割が重要となっています。